

JIS

排ガス中のダスト濃度の連続測定方法

JIS Z 8852 : 2013

(JEMIMA/JSA)

平成 25 年 9 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 計測計量技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	田 中 充	独立行政法人産業技術総合研究所
(委員)	大 谷 聖 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	小 島 孔	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	渋谷 眞 人	東京工芸大学
	瀧 田 誠 治	一般社団法人日本電気計測器工業会
	長 塚 淳	日本光学工業協会 (株式会社ニコン)
	中 本 文 男	一般財団法人日本品質保証機構
	古 谷 涼 秋	東京電機大学
	宮 島 義 嗣	一般社団法人日本工作機械工業会 (大阪機工株式会社)
	吉 川 和 身	環境省
	渡 邊 英 孝	日本精密測定機器工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 25.9.20

官 報 公 示：平成 25.9.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本電気計測器工業会

(〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 2-15-12 計測会館 TEL 03-3662-8181)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：計測計量技術専門委員会 (委員長 田中 充)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文.....	1
1 適用範囲.....	1
2 引用規格.....	1
3 用語及び定義.....	2
4 測定システム要素.....	3
4.1 吸引採取部及び計測部.....	3
4.2 データ記録部.....	4
5 施設の必要条件.....	4
5.1 測定場所.....	4
5.2 測定環境条件.....	4
6 測定システムの性能仕様.....	5
6.1 応答時間.....	5
6.2 ゼロドリフト.....	5
6.3 スパン.....	5
6.4 スパンドリフト.....	5
6.5 校正仕様.....	5
7 校正手順.....	5
7.1 応答時間.....	5
7.2 現場でのゼロ及びスパンの設定.....	5
7.3 測定システム校正.....	6
附属書 A (規定) データの統計処理.....	7
附属書 B (参考) 可能な吸引採取形態.....	11
附属書 C (参考) 試験データ様式.....	12
附属書 D (参考) 計算例.....	13
附属書 JA (参考) 計測器の種類.....	16
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表.....	19
解 説.....	23